



## 令和4年度後期始業式 式辞

「そのときの出会いが、その人の人生を根底から変えることがある」

みなさんは、あいだみつをさんを知っていますか。日本でもっとも有名な詩人の一人で、特徴的な書体でとてもなじみやすい詩を数多く書いた方で知られています。先ほどの詩にあるように、たったひとつの出会いが、その人の考え方を大きく変え、それから先の人生の歩み方を大きく変えてしまうことがあります。きっと、ここにいるみなさんも、そういった出会いを数多く経験してきているのではないのでしょうか。

私にも人生を変えるような大きな出会いがありました。日本の大学を卒業し、オーストラリアで留学をしていたころ、それまで一生懸命学んできた英語が全く通用せず、自信がなかなか持てない時期がありました。学校の英語の授業でやってきたことが、日常的なコミュニケーションの場や、グループディスカッションなどの実践の場で生かされないどころか、本当に何もできなかったからです。周囲の留学生は堂々とプレゼンテーションし、中には4ヶ国語、5ヶ国語を話すことができる生徒もいました。自分は周囲よりも劣っている、英語がすらすら話せない自分が恥ずかしいと思うようになり、自分がこれまで日本で時間をかけて学んできたことが無駄だったとを感じるようになってしまいました。そんな時、クラスでもネイティブに近い素晴らしい英語を話し、いつもイキイキとしているブラジル人の友達に相談をしました。どうやったら、自分もイキイキと英語が話せるようになるかを。そうすると彼は「誰一人として完璧な英語を話す人はいないでしょ。お前が完璧な日本語を話せないようにね。大事なのは楽しむこと。何をやるにせよ、楽しんでやるのが一番なんだよ。」シンプルだなと思いました。

でも、これでいいんだと思いました。私が一生懸命やろうとしていたのは「英語」の勉強であって、教科書の中の勉強でしかなかった。本当に大事なのは対話したり、思いを伝えたり、お互いについてもっと理解していくことなのだと気づきました。そこから少しずつ、私は授業でも発言することができるようになっていきました。彼とのあの時の会話が、その後の僕を支えてくれました。そして、彼の言葉は、今の僕を支える言葉になっています。そして、彼は今でも私の一番の親友です。

人生は出会いです。私のケースのように、出会いは人を大きく変え、その後の人生の歩み方に大きな影響を与えます。ただし、出会いと言っても人であるとは限りません。本や映画との出会いも、大きな体験であり、その後の生き方を変える力をもっているのではないのでしょうか。ここでぜひ忘れないでもらいたいのは、2つの考え方です。一つは、出会いは、出会うべきタイミングで出会うものであるという考え方。もう一つは、自分で主体的に出会いを探し出していくものという考え方です。どちらが正しいと言うよりも、おそらく両方とも正しく、この2つが組み合わさったときに出会いがあるのだと思います。

御殿場西高校の生徒の皆さんも、今年度残り半年間で色々な出会いがあるでしょう。ときに振り返りながら、人生で大きな出会いとはなんだったのかをぜひ考えてもらいたいと思います。そして、出会いから学び、変わり、そして成長してもらいたいと思います。以上で、私からの式辞といたします。

# ある一冊の本との出会い

『喜ばれる人になりなさい』という本を読んだことがありますか。  
『人は話し方が9割』でおなじみの永松茂久氏の本である。昨年読んで以来、この「喜ばれる人になる」という考え方の大切さに気づかされ、たくさんの生徒たちに読んでもらいました。喜ばれる人になるためには、どんな生き方をし、周囲の人たちに対してどのように関わっていくべきなのかを一緒に考えました。彼らにとっても、私自身にとってもとてもいい学び合いが出来たと思います。

このように、一冊の本との出会いが、その人の考え方を大きく変えることはよくあります。読書は勉強というよりも、体験に近いのだと思います。人との出会い同様に、たくさんの本と出会い、かけがえのない一冊をぜひ見つけてほしいと思います。



## 学校名が入りました！

3年間におよぶ校舎外壁塗装工事が終了するとともに、学校名が本館の上部に入りました。本館、スカイホール、アカデミックセンターまで色を合わせ、統一感のあるデザインとなりました（御殿場市体育館も同じデザインっぽいですが・・・笑）いい学びは、いい環境から。在校生も、卒業生も誇れる校舎になっていくと思います。まだまだこれからもっと良くなしていきますからね！



## 前期生徒会お疲れ様！

前期の生徒会メンバーの皆さん、お疲れ様でした。コロナ前よりもずっとパワーアップした仰高祭や、デジタル目安箱の設置など、新しい取り組みも多かったと思います。大変なこともたくさんあったと思いますし、失敗もたくさんしたと思います。でもそれでOK。失敗するから学ぶこともでき、改善もできる。まずはやってみなくちゃね。

さて、後期メンバー。面白いことになりそうですね。校則見直しを掲げてスタートしましたが、学校の規則を変えていくのは簡単なことではありません。どのようにアイデアをまとめて、合意形成に向けた対話をしていくのかになるでしょう。新しい時代に向けた学校づくりを一緒にしていきましょう。

## 保護者の皆様へ

いつも本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。4月からスタートした本年度も早くも終業式を迎え、あっという間に前期が終了いたしました。今年度からスタートした「BLEND」による連絡や学校からの文書の配信は、まだまだ課題も多いのが現状です。保護者の皆様のご意見やご助言をもとに、日々改善に努めてまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

後期はどのような半年間となるのか、私も心から楽しみです。多くの方々との出会いを通して、学び、感じ、変わり、成長していく期間となっていきたいと思います。

